

鶯亭金升 鶯亭 戯作者。慶應四年二月十六日下總國生れ、昭和二十九年十月二十一日歿（八六一一九歳）。本名長井總太郎。筆名千代田遷人、實の山人、實山人、實通山人、實田通里人、實田遷人、野暮鶯、長井日晏、長井金升、鶯亭金升等。雜誌『於東京繪團團珍聞』投書家を經て團團社社長、のち諸新聞を轉々。

著書『沙鍋調練坪内譚』（明治十九年十月共隆社。再刊・二十四年）

『月守藤倉』（續刻發行）、『滑稽俳人氣質』、『滑稽茶人氣質』（昭和二十一年五月）

『二十九日金樓堂』、『滑稽乗合船』（明治二十一年十一月十八日自刊、漫遊會）、『清歌題材都々逸獨稽古』（内題「都々一獨稽古」明治二十五年二月）

『心ざん合作小説』（むかしの漫遊會）、『むかしの博文館「東洋文藝全書」』、『むかしの合作小説』（むかしの漫遊會）

『むかしの博文館「東洋文藝全書」』、『むかしの合作小説』（むかしの漫遊會）

『むかしの博文館「東洋文藝全書」』、『むかしの合作小説』（むかしの漫遊會）

『むかしの博文館「東洋文藝全書」』、『むかしの合作小説』（むかしの漫遊會）

『むかしの博文館「東洋文藝全書」』、『むかしの合作小説』（むかしの漫遊會）

『むかしの博文館「東洋文藝全書」』、『むかしの合作小説』（むかしの漫遊會）

『むかしの博文館「東洋文藝全書」』、『むかしの合作小説』（むかしの漫遊會）

『むかしの博文館「東洋文藝全書」』、『むかしの合作小説』（むかしの漫遊會）

『むかしの博文館「東洋文藝全書」』、『むかしの合作小説』（むかしの漫遊會）

『むかしの博文館「東洋文藝全書」』、『むかしの合作小説』（むかしの漫遊會）

『むかしの博文館「東洋文藝全書」』、『むかしの合作小説』（むかしの漫遊會）

『むかしの博文館「東洋文藝全書」』、『むかしの合作小説』（むかしの漫遊會）

『むかしの博文館「東洋文藝全書」』、『むかしの合作小説』（むかしの漫遊會）

『むかしの博文館「東洋文藝全書」』、『むかしの合作小説』（むかしの漫遊會）

『むかしの博文館「東洋文藝全書」』、『むかしの合作小説』（むかしの漫遊會）

『むかしの博文館「東洋文藝全書」』、『むかしの合作小説』（むかしの漫遊會）